

MARKET ANGLE in LIVING

FITNESS

MAIL

AUTUMN  
2020

マーケッターが市場の動向を切り裂く、インテリジェンス・ペーパー

*Evolving fifth generation and online market.*

# 進化する第5世代と オンライン市場

超高速で低遅延な次世代通信システムである

5G＝第5世代移動通信システム。

5Gスマホも発売され、

サービスが段階的に導入されます。

スマホやタブレットでのモバイル通信が  
快適になる一方で、ビジネスのさまざまな

分野での活用も見込まれている5G。

今回はその5Gが主流になっていく今後、  
フィットネス業界ではどんな影響があるのか  
探っていこうと思います。

ユニフィット社員が最新「バス」リ情報を切り抜くコラム

**Buzz clipping**

徐々に冷えてきました  
あまり暑くないからといって  
水分は忘れないように！

Unifit

[www.unifit.co.jp](http://www.unifit.co.jp)

TAKE FREE

How does the company cope with the change of the times?

## 時代の変化に企業はどう対応するか

昨年、世の中が目まぐるしく変化しており、各企業どう対応するかが求められている。これはフィットネス業界も例外ではない。本記事では時代が一体どのようにシフトしているのかを具体的に探りながら、フィットネス業界における各企業の変化への対応を考えていく。

### より個人が力を持つ時代へ

まずは今後のフィットネス業界がどのように変化していくのか考えていきたい。特にキーワードとなるのが猛威を奮い続けている「新型コロナウイルス」とこれから一般化していく「5G」だ。まず前者については既に業界に変化を与えており、ここ最近で自宅フィットネスの需要が高まり、配信型のサービスが激増している。そしてこの流れを後押しするのが後者だ。「5G」により同時接続、低遅延などの機能性が飛躍的にアップする。



Image

これにより配信型はもちろんのこと「リアルタイム通信で数千人程度の人相手にヨガを行う」ことができてしまうほどにデジタルインフラが整うことになり、自宅フィットネス需要が今後も伸び続けることが予想される。ではこの自宅フィットネス需要が増すとどうなるのか。それは企業よりも個人が大きな力を持つようになることだ。例えば、今ダイエット関連やトレーニング関連で人気のユーチューバーは多く人で数十万人の登録者があり、中にはそこから月会費制のオンラインサロンに誘導している人も少なくない。これらの人がより大きな影響力を今後持つように

なれば、一人の人間によって企業が潰されてしまう危険性もあり得るだろう。

### 企業ができることは

ではこの健康需要が増加すると注目を浴びるのはどんなフィットネスクラブか。1つ考えられるのは総合型だ。総合型といえば、強みとして施設の充実性があがる。トレーニングマシンやスペースだけでなくサウナ付きの浴室、プール、エステサロンなどが完備されているケースが多い。そしてこれらが付加価値に成りうる。例えばプールの場合、精神的なストレスや腰痛や膝の痛みに効果的、エステサロンの場合、精神的なストレスや肉体的疲労に効果的と言われている。(両例とも専門家の意見だが諸説あり)これらは自主的にする運動や小型店舗では体験できず、健康に対する不安が大きい人や既に身体的に不調が現れている人にとっては魅力的な要素だ。とはいえ実際、付加価値になるこれらの施設は「ダイエット」「美容」とその他のニーズに対しても同様に付加価値となりうる。しかし近年、そんな様々なニーズに対応できるからこそ広告における訴求内容をうまくまとめるのが困難というのが課題の1つであり、明確に1つのニーズに絞った特化型の方が活況な流れであった。しかし今回の一件で世間のニーズにまとまりが出てくれば訴求内容も絞り込み、付加価値として提案しやすくなるだろう。この提案が上手く行けば、近年の小型店舗活況の流れを覆す挽回策となるかもしれない。



writer's voice  
マーケティング・  
プランニンググループ

大山 恭平  
Oyamada Syohei

最近ゴールドジムの米本社が破産申請を出したニュースに驚きました。どうやら日本のジムに影響はないみたいですが、時代の変化の恐ろしさを感じた瞬間でした。

What is the key to success in "fitness at home"?

## 「おうちでフィットネス」成功のカギは？

需要が高まりつつあるオンラインフィットネス。新しい運動スタイルとして、大手から小規模企業まで一気に市場が広がっていますが、ユーザーはどういったコンテンツを好むのでしょうか。YouTubeやTikTokからヒントをなにか得られないか、今回は普段積極的に運動をしない私が気になったチャンネルを紹介します。

### ダンスで痩せる

TikTok・YouTubeを中心に若者の間で流行している「HANDCLAPダンス」はご存知でしょうか。今回の自粛期間中に有名な芸能人やユーチューバーの間が公開してマネする人も多く、「2週間で10キロ痩せる」のキーワードで話題になりました。3分間、曲に合わせて運動をするのですが内容はエアロビクスに近い運動になっており難易度も簡単でマネしやすいのが話題になって要因ではないでしょうか。元ネタは「韓国の2人組ダイエットーJosh&Bamui」がYouTubeに投稿した動画。この2人組のチャンネルでは「2週間で10キロ痩せるダンス」をコンセプトに様々な流行りの曲に合わせて、ダンス×フィットネスの動画がアップされています。



「2週間で10キロ痩せるダンス」Josh & Bamui

「HANDCLAPダンス」は実は2017年に公開されており、これまでに4000万回再生されています。2019年にも流行っており今回コロナの自粛期間中で再度また話題になりました。

### 続けられるポイント

ここまで話題になった要因は前にも記述したように、だれでも簡単に、程よく運動した感が味わえるからだと思います。限界まで追い込むクロスフィットとは違い、3分間という短い時間・シンプルな動きのみなので、意思が弱くても続けられるのがポイントです。また動画の中には韓国アイドルの人気曲に合わせて振付も取り入れたエクササイズやラテン系の曲に合わせた難易度の高いダンスもあります。2週間で10キロ痩せられるかというと実際にはかなり難しいとは思いますが、「3分だけ」「ダンスを踊っている気分になれる」「好きな曲に合わせられる」「程よく疲れる」のが人気のポイントではないでしょうか。気軽に運動しに来てほしいとは言えないこの状況だからこそ、普段運動とは無縁の方にも楽しく続けられるプログラム作りが重要かもしれません。またダイエット系ユーチューバーの、「筋トレ」「ジムでのトレーニング方法」などの動画ではファンの方からの質問が口コミに良く書き込まれています。読んでいくと、ジムや運動が続かない具体的な理由だったり、悩み事が書かれています。過去にジムに通っていたけど続かなかった人の「個々が離脱した理由」も書き込まれていたりするので、意外と参考になるかもしれません。



writer's voice  
アカウント・  
プランニンググループ

奥村 麻梨子  
Mariko Asamura

個人的に2週間で10キロ痩せるダンスシリーズのツボは、2人のうち女性はダンスがとてうまく男性が普通なところ。親近感がありチャレンジしやすいです。